



日本共産党 関戸 勇 市議

戸頭駅に通じる歩道の劣化が進み危険

側壁・改修が行われず

ウォッチング調査で確認

共産党戸頭支部と後援会では5月から6月にかけて戸頭地区内の歩道や車道など危険個所を調査しました。

特に戸頭駅前の歩道（坂道）側壁は壁のタイルが一部分剥がれ落ち、腰壁には深い割れ目が見つかると劣化が進み地震などで通行人に危険が及ぶため改修を急ぐよう取手市に求めました。



ウォッチングで危険な場所を確認し写真で記録

議会でも取り上げる

地元戸頭の関戸勇市議（共産党）は6月議会でも取り上げ担当部長は「現状を確認し改修する」と答弁しました。



上の2枚は駅に出る歩道上の腰壁

歩道の凸凹や車道の改修を

歩道の凹みで転び救急搬送される方が増えています。

「雨水溝に蓋を」の声も聞きます。

車道にひびが入り大型車が通ると家が揺れる場所もあります。道路の改修も急がれます。

夜でも安心して歩けるよう 防犯灯の増設を求める

関戸議員は6月議会的一般質問で取手市が決めていた街灯（防犯灯）の設置基準について調査結果をも

とに質しました。

取手市の基準は50mに1か所です。戸頭地域でも、国道とふれあい道路を結ぶ幹線道路は防犯灯が極端に少なく10本に1か所しかありません。そのため「道が暗い。街灯をつけて」と中学生や多くの市民からの声が寄せられています。また数軒で費用を負担し街灯を付けている地域もあります。電信柱はおよそ25mに1本あり、設置基準を改定することで町や道路が明るくなり安心して歩けます。

宮ノ前ふれあい公園で ホタルを 育てる取り組み

戸頭1丁目にあるUR団地の南側に自然環境に恵まれた公園があ

ります。この公園はゴミの焼却灰処分場の計画に環境保護団体と市民や自治会などが反対の声をあげ中止し造られました。林に囲まれ、河川敷にも近いため貴重な動植物が見られる自然公園です。

来年、市政50年の記念事業の一つとして「ホタルの舞う公園」を目指すことが6月市議会でも決まりました。詳細はこれからですが、市民の協力で進めることとなります。

